

[改定] 田原市観光基本計画(案)の概要

1. 改定の目的

平成 19 年 3 月策定の計画は、中期計画(4 年～7 年)を終えた段階で、見直しをすることとなっており、平成 25 年度で中期計画を終えたため、本基本計画の改定を行いました。昨年度までの実施状況等を評価・効果測定したうえで、社会環境の変化や、急激な変化を続けている国内外の観光情勢、観光客の動向を把握することで、時代の流れに即した新しい観光振興の指針を作ることを目的とします。

2. 調査結果を踏まえた田原市観光の課題と方向性

田原市への来訪者アンケート、東海地方の一般アンケート、事業者ヒアリング、スーパーバイザー(有識者や専門家)の意見等を踏まえ、田原市観光がおかれている課題を検証し、方向性を導きました。

田原市観光の課題

1. 田原の強み・オンリーワンの素材の活用
2. 埋もれた観光資源の未活用
3. 地域一体となった推進体制
4. 伊良湖岬周辺地区の再生・重点地区としての強化
5. 半島立地の特性の活用
6. 田原観光イメージの希薄(情報発信力の再検討)
7. 田原市全体での受入環境・おもてなしの充実

田原市観光が目指す方向性

- ◆オンリーワンの強みを活かした観光魅力の整理・創造
 - ①農・花・食を活かした魅力創出と総合産業化
～地域一体となった取り組みと総合産業としての地域活性化
 - ②女子旅ブームに対応する魅力創造と情報発信
 - ③東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ観光の充実
 - ④超高齢化社会に対応したシルバー向け観光地の魅力創造
 - ⑤学習観光・視察観光ニーズへのアプローチと受入対応
- ◆観光推進体制の確立と受入環境整備
 - ⑥インバウンドマーケットの開拓と広域連携による誘客
 - ⑦伊勢志摩、三河湾、三遠南信などの広域連携の強力推進
 - ⑧田原市観光まちづくりの推進体制確立と担い手の人材育成
- ◆情報発信力の強化
 - ⑨情報発信内容の整理(観光素材の整理)と情報力強化
 - ⑩訪れてよし・住んでよしの定住促進とPR

3. [改定]田原市観光基本計画

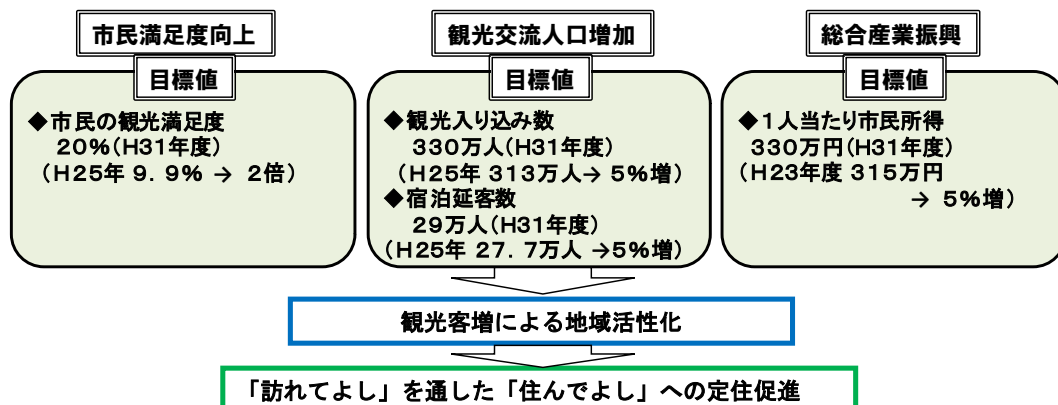
(1)計画期間 改定版の計画期間は、平成 27 年度から 31 年度までの5ヶ年とします。

(2)基本コンセプト

『渥美半島まるごと観光』

～多彩な資源を最大限に活用し、半島全域でオールシーズン楽しめる、地域一丸となった取り組みによる“渥美半島まるごと観光”～
 ～海に囲まれた里山・渥美半島で四季を通じて「見る」「食べる」「体験する」が満喫できる、“旬産旬時”とれたて新鮮な心安らぐゆったり寛ぐ観光～
 ～観光客増による地域産業活性化への貢献、観光交流を通じた定住促進へ～

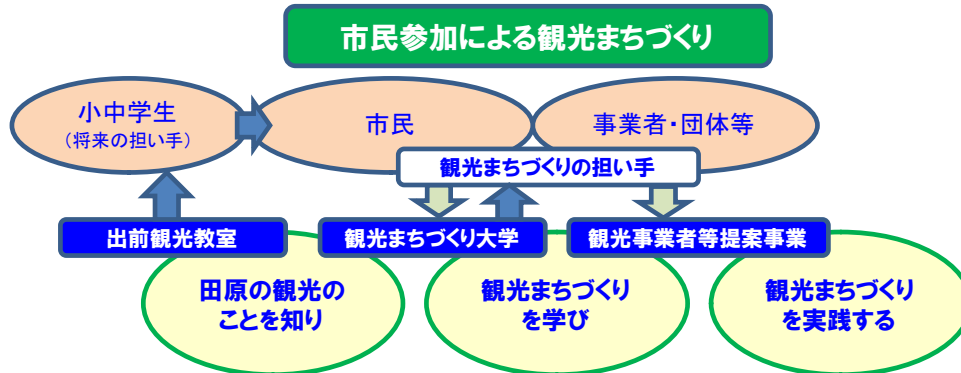
(3)目標



(4) 田原市観光計画推進アクションプラン

① 市民参加による観光まちづくりの推進

本基本計画においては、様々な角度から市民参加という視点を念頭において観光振興の推進を図ります。



② 観光振興推進体制の確立

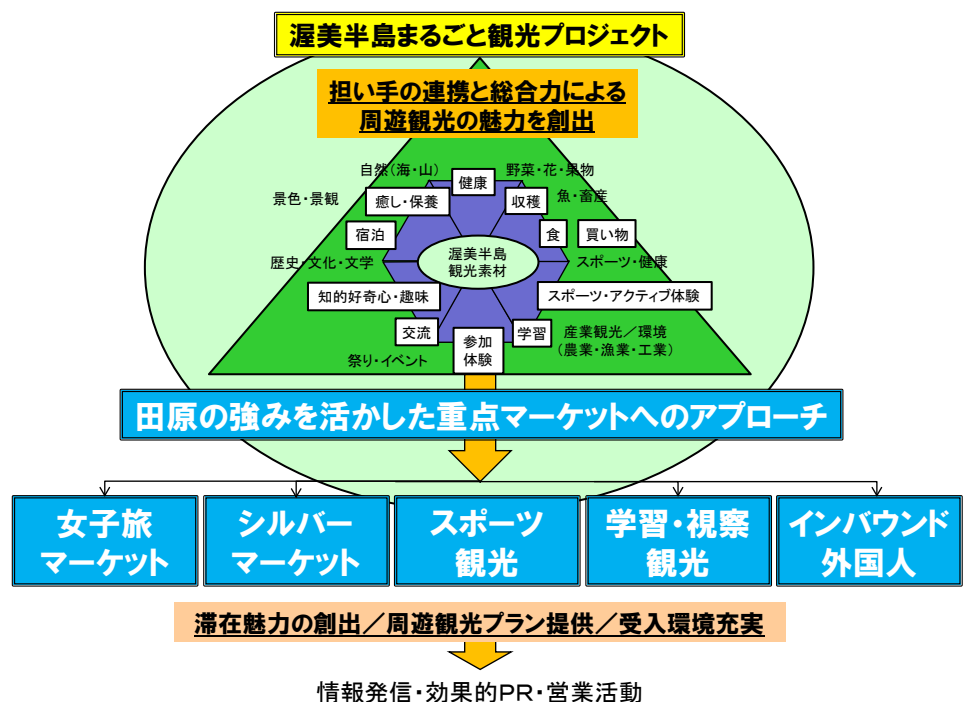
田原市と渥美半島観光ビューローの明確な業務領域の分担による効率化や、地域一体で推進する観光まちづくり推進体制「まるごと渥美半島・観光まちづくりネットワーク」の構築など地域一体となった連携による推進体制づくりを進めます。



③ 新たな視点に立った観光資源の発掘・開発・創造による観光魅力度の向上

田原市が誇る様々な地域資源を活用した新たな観光資源を発掘・開発・創造し、田原の強みを活かした重点マーケットに対するさらに強い田原市観光のイメージを創出し、地域全体の観光魅力度を向上します。

- ・観光資源の発掘
- ・観光資源の開発
- ・観光資源の創造
- ・集客フェアの開催
- ・着地型旅行商品造成 等



◆4つの重点マーケット(国内観光)に対する魅力の創出とPR展開(イメージ)

田原の強みを活かせる「女子旅」、「シルバー」、「スポーツ観光」、「視察・学習観光」を国内観光の重点マーケットとし、様々な魅力創出プログラムや、受入環境・サービスの整備、地域内連携によるイベントなど連携事業の実施、ターゲットを絞り込んだPR活動等を展開します。



また、「渥美半島まるごと観光」プロジェクトとして、地域全体で取り組む季節・期間限定のフェア、イベント等を開催します。

【集客フェア (例)】

日本一の農業・花、どんぶり街道、貝づくし

春の渥美半島

農と花・食祭フェア

毎年5～6月

海・山歩き・まち歩き・食べ歩き

秋の渥美半島

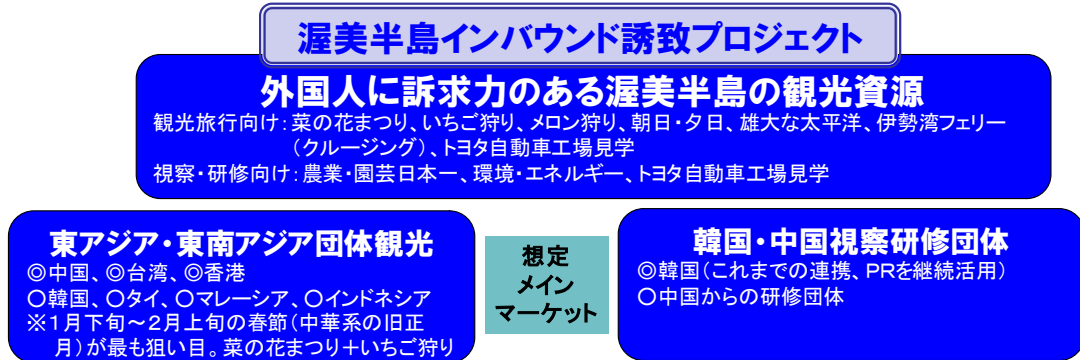
まるごとウォーク

毎年10～11月

(4)新たな観光マーケットを意識した情報発信・PR

主要ターゲットとなるマーケットエリアに対し、確実な客層を得られるマーケットへの情報発信に重点を置き、上記重点マーケットのほか、インバウンドマーケット（訪日外国人）など、新たなマーケットへのアプローチについても積極的に展開します。また、隣接する地域等との広域連携による観光も推進します。

◆インバウンドマーケットPRイメージ



(5)観光客にやさしい・おもてなしのある受け入れ体制づくり

観光客が訪れて気持ちのいい観光地として、観光客にやさしい観光まちづくりを推進し、市民も気持ちよく観光客を迎え入れるおもてなしのある受け入れ体制づくりを推進します。

- ・交通アクセスの充実
- ・サイン・看板の整備、快適な移動環境整備
- ・ホスピタリティの醸成と人材育成
- ・観光地の美化推進

(6)観光産業振興から総合産業振興への展開による地域活性化・雇用促進

観光産業の振興のみに特化するものではなく、1次、2次、3次産業まで含めた様々な業種間、地域間の連携を実施し、総合的な産業振興を目指します。

